

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

平成26年第5回沖縄県議会(定例会)

09月29日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	大城 一馬(社大党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 基地問題について</p> <p>(1) 普天間基地の5年以内運用停止について進捗状況を問う。</p> <p>(2) 基地負担軽減の実効性について問う。</p> <p>(3) 辺野古海上へのブイ設置でマスコミ記者に問われ「防衛省に聞いてください」等、発言の真意を問う。</p> <p>(4) マスコミの世論調査によると「移設作業は中止すべきだ」80.2%に達し知事承認批判も74%だ、普天間飛行場県内移設反対も79.7%。所感を問う。</p> <p>2 知事選の争点について</p> <p>(1) 菅官房長官が知事の埋立承認で「もう過去の問題だ。争点にならない」と発言した。所見を問う。</p> <p>3 カジノ導入について知事の所見を問う。</p> <p>4 大型MICE建設の進捗状況について問う。</p> <p>5 鉄軌道導入について進捗状況を問う。</p> <p>6 久米島沖の海洋発電事業について説明を求める。</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

平成26年第5回沖縄県議会(定例会)

09月29日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	赤嶺 昇(県民ネット)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 公約の重みに対する見解を伺う。(2) 来る知事選挙で普天間飛行場の辺野古移設推進を公約とするかを伺う。(3) 普天間飛行場5年以内の運用停止の実現性について伺う。(4) 基地負担と振興策は、リンクするかを伺う。(5) これまでの訪米回数、予算総額を伺う。(6) 原発に対する見解を伺う。(7) 県発注公共工事が一部業者に偏っている課題を伺う。 <p>2 土木建築行政について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 総合評価の課題を伺う。 <p>3 福祉医療行政について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 国民健康保険の課題を伺う。 <p>4 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成26年第5回沖縄県議会(定例会)

09月29日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	新田 宜明(社民・護憲)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 基地問題について

(1) 普天間飛行場問題について

- ア 飛行場建設前の集落、人口、土地利用の状況はどうだったか。
- イ 飛行場建設工事は何年から始まり、完了したか。
- ウ 建設工事が始まった時期、そこにいた住民はどこに避難または収容されていたか。
- エ 占領軍による基地建設は国際法に照らして合法か。
- オ 現在の普天間飛行場内にある施設名、機能について
- カ 普天間飛行場の移設先とされる名護市辺野古のキャンプ・シュワブ沿岸部に建設される新基地の施設名、機能について

(2) キャンプ・シュワブについて

- ア 名前の由来は。
- イ 基地建設前、難民収容所として使われていたと言われる。当地に収容された出身者について
- ウ 戦時中ないし収容所のあった期間に戦没者がいたか。
- エ 戦没者の遺骨はどうなったか、埋葬されたままか、収骨されたか。

2 教育行政について

(1) 2012年3月、西原町の小学校で体育の授業中の事故で起こった「脳脊髄液減少症」の補償について

- ア 事故当時の状況と、その後の経過について
- イ 県外で治療を受けたため、保険外適用になっている。これに対する対応について
- ウ 「脳脊髄液減少症」の児童生徒の県内の実態について
- エ 条例等の制定によって救済策が講じられないか、県の対応について。他県の現状はどうなっているか。

(2) 名護特別支援学校の温室設置要望について

- ア 当校からの要望の内容と必要性の有無について
- イ 要望に対する教育庁の対応について

3 待機児童解消策について

- (1) 県内市町村で50人以上の待機児童数は、8月末日現在で上位からどういう現状にあるか。
- (2) 県、市町村の解消策の施策について、次年度から「子ども・子育て支援新制度」が始まるが、解消策は従前どおりか、計画の見直しがあるか。
- (3) 事業所内の保育施設の設置に対する県の支援策について

4 海岸漂着物対策について

- (1) 海岸漂着物・ゴミ等の現状と対策費、過去5年の推移について(自治体単位に)

- (2) 沖縄県海岸漂着物地域対策推進事業基金条例は、平成27年3月31日で失効するが、その後の漂着物対策の目的を達成するためにどのような施策を講じるか。
- 5 公安行政について
 - (1) 交通事故・犯罪など危険ドラッグが市中で販売され、重大な問題となっている。沖縄の現状と対策について
 - (2) 西崎特別支援学校正門前の信号機設置要請に対する対応について
 - 6 県管理の2級河川・饒波川について
 - (1) 整備の進捗状況と工事完了はいつか。
 - (2) 工事完了済みのほとんどの部分で雑草と土砂が堆積し川幅が狭くなっているが、その対策はどのように講じるつもりか。
 - (3) 河川整備の理念に合致した整備が現状の饒波川だと認識しているか。
 - 7 豊見城団地南分譲地内の崖崩れ対策について
 - (1) 当該自治会からの陳情は採択されたが、対策に向けての動きが見えないという不安を住民は抱いている。対策の進捗状況はどうなっているか。
 - 8 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成26年第5回沖縄県議会(定例会)

09月29日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	奥平 一夫(県民ネット)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

- (1) スコットランド住民投票は沖縄の将来にとって示唆を含むものだと考えるが、知事の見解を聞く。
- (2) 米軍基地問題について
 - ア 「全国の0.6%の面積に74%の米軍基地はもうゴメンです。」だから「普天間基地を県外移設へ」と4年前の選挙で約束しました。成果を示せ。
 - イ 報道によれば辺野古沖の埋立承認については「普天間飛行場の問題を解決する最短の方法だ」と発言している。これまで「県外が早い」と説明してきた。
 - ウ 何の担保もない「5年以内の運用停止」は、承認後に「危険性の除去」でごまかす戦術のようだが、「辺野古移設かさもなくば固定化だ」とする政府の恫喝に歩調を合わせた一体的な県民だましである。県民の要求は建白書に盛り込まれた「新基地建設反対」である。
 - エ 「基地は沖縄自立への障害要因である」知事の見解を聞く。
 - オ 新基地建設と21世紀ビジョンの整合性について見解を聞く。
- (3) 沖縄電力の小型原発研究について中止を申し入れるべきではないか。
- (4) 伊良部架橋供用に伴う地域の振興と下地島空港及び周辺残地利活用について伺う。
 - ア 下地島空港及び周辺用地方策検討について経緯と今後の日程等について聞く。
 - イ 架橋完成に伴って伊良部島振興等を含む下地島空港・周辺残地の利活用計画の見直しについて県の見解を聞く。
 - ウ 架橋供用に伴う伊良部・宮古圏域にどれほどの経済効果があると考えているか。また伊良部島における具体的な振興策を聞く。
 - エ 知事の1000万人観光客構想では宮古島への観光客数の増加はどれくらいを予想しているか。
 - オ 架橋供用による観光振興の可能性と課題について見解を聞く。
 - カ 架橋完成によって陸路運送が可能となり、下地島空港の輸送基地としての活用は具体化を帯びている。輸送基地としての活用は那覇空港でも不足しており、雇用を含む大きな地域振興として可能性がある。
 - キ 宮古空港の繁忙期における下地島空港の活用や中国、台湾等からのチャーター便の招致が検討されてきた。そのためには下地島空港に最低限のターミナルを設置し、ほかの県管理空港と同様、民間機が就航できるようにすべきである。政府がしっかりと沖縄振興の責務を果たすべきという観点からもターミナル設置に対する補助支援を求めていくべきと考えるがどうか見解を聞く。
 - ク 農業ゾーンの進捗について現状と課題を伺う。
 - ケ 県管理空港を一度廃止したら二度と復活はできない。下地島空港は宮古圏域の振興発展の要である。知事の見解を聞く。
 - コ 強風等による橋の閉鎖と飛行機の発着の関係によるハードル。
 - サ 地域の均等な発展と自然保全等のための伊良部・下地島への広域公園誘致について知事の見解を聞く。

- シ 架橋完成に伴って伊良部高校の存続問題が課題となってくるが、教育長の見解を聞く。
 - ス 下地島利用問題で當銘部長は「屋良覚書や西銘確認書は周辺残地には及ばない」と発言しているが、その根拠を示せ。
- (5) 県総合防災訓練への自衛隊、米軍の参加について聞く。
- ア 防災訓練を理由にした自衛隊ヘリの下地島空港利用について知事の見解を聞く。
 - イ 米国海兵隊サイトによると「沖縄県が海兵隊の災害救助の分野における機能に理解を示し、初めて海兵隊の参加を求めました」とある。なぜこれまで例のない在沖海兵隊の参加と米軍機の利用を求めたのか、知事の見解を聞く。
- (6) 「特別警報」における災害対策本部長の飲酒問題について知事の見解を聞く。
- (7) 自衛隊機によるマンゴー輸送について
- ア 自衛隊ヘリ使用の指示は知事が行ったのか。その経緯と見解を聞く。
- (8) 宮古広域公園候補地選定の経緯と今後の日程等について聞く。
- (9) 離島における太陽光発電設備の接続申込保留問題について、現状の経緯と解決に向けた県の対応について聞く。
- 2 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成26年第5回沖縄県議会(定例会)

09月29日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	高嶺 善伸(社民・護憲)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

(1) 県民世論に対する認識と対応について

8月26日に報道された琉球新報と沖縄テレビ放送合同県内世論調査の結果によると、政府が米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設に向けた海底ボーリング調査を開始したことに対して「移設作業は中止すべきだ」との回答は80.2%に上り、「そのまま進めるべきだ」と回答した19.8%を大きく上回っている。県民は移設作業の中止を求めているが県民世論に対する認識と対応を伺う。

(2) 地元名護市の民意に対する認識と対応について

名護市議会議員選挙では27議席中、辺野古移設反対は16人で過半数を占めました。1月の名護市長選挙で名護市辺野古での新基地建設に反対する稲嶺進市長が当選し、地元名護市民は辺野古移設反対の意思を示しました。選挙によって示された地元住民の民意を尊重すべきと考えるが知事の認識と対応を伺う。

(3) 県議会決議に対する認識と対応について

9月3日、「辺野古のボーリング調査等の強行に抗議し、新基地建設工事の即時中止を求める意見書」を議決し、政府に要請しました。県議会の決議を尊重すべきと考えるが知事の認識と対応を伺う。

(4) 普天間基地の県外移設に対する認識と対応について

防衛省は佐賀県空港への移設も計画しており、知事も県外移設が早いと主張してきた経緯があり「普天間飛行場の5年以内の運用停止」を要求している。「米海兵隊の沖縄駐留の必然性」「抑止力」の根拠が崩れ、沖縄駐留は「政治的な判断の結果」ということだと考えられるが、知事は辺野古埋立作業中止を求め県外移設に取り組むべきではないか対応を伺う。

2 県民生活と雇用対策について

(1) 県民所得と雇用対策について

ア 1人当たりの県民所得を平成33年度までに271万円程度に引き上げるための具体的な取り組みを伺う。

イ 本県の県民所得が低いのは、全国平均に比べて1人当たりの県民雇用者報酬が低いことも要因と考えるが県の認識と今後の対応について伺う。

(2) 非正規雇用対策について

ア 本県の給与水準は全国と比較して現状はどうか。平成33年度の目標とする給与水準と達成するための取り組みを伺う。

イ 本県の非正規雇用の賃金水準は全国と比較して現状はどうか。正規雇用の賃金水準と比較するとどのようになっているか。平成33年度の目標とする非正規雇用に対する今後の取り組みを伺う。

3 医療行政について

(1) 県立病院の経営安定化計画の進捗状況と今後の対応について伺う。

(2) 医師確保の取り組みについて

ア 医師不在で診療休止もあるが医師確保の現状と今後の見通しを伺う。

- イ 沖縄県北部地域及び離島緊急医師確保対策基金事業について伺う。
- ウ 琉球大学との連携について取り組みを伺う。
- エ 新八重山病院の基本計画で研修・教育機能として臨床研修制度の導入を目指すことになっているが取り組みを伺う。
- (3) 新八重山病院整備について
 - ア 離島患者の付添人等の宿泊施設整備について取り組みを伺う。
 - イ 保育所については、病院敷地内に用地を確保することになっているが施設整備と運営について取り組みを伺う。
 - ウ 新病院からの排水処理について伺う。
- 4 離島振興について
 - (1) 波照間航空路再開について
 - ア 第一航空による波照間航空路線就航の進捗状況と運行開始のめどを伺う。
 - イ 新石垣空港は、利用客の増加で混雑しているが発着業務スペース確保等の対応を伺う。
 - ウ 運航費補助についてどのように対応するか。
 - (2) 与那国航空輸送体制の拡充について
 - ア RACの機材更新への支援と課題解決の見通しについて伺う。
 - イ 抜本的解決はジェット機の就航だと考えるが県の認識とJALグループとして機材を確保して就航させることへの取り組みを伺う。
 - (3) 与那国自衛隊監視レーダーについて
 - 久部良集落の裏山にレーダー建設が進められようとしているが、民家からあまりにも近く、頭上に設置されるレーダーの電磁波による健康や生活に対する悪影響を大変心配している。設置されるレーダーの位置、電磁波の影響について県の認識と計画の中止を求めて健康被害等の検証をすべきではないか対応を伺う。
- 5 農業行政について
 - (1) 県営水質保全対策事業の経緯と成果を伺う。
 - (2) 平成23年度から地方財政法に基づく議決により、新たに地元負担金を徴収することになった理由と再度見直して地元負担金を廃止することについて対応を伺う。

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

平成26年第5回沖縄県議会(定例会)

09月29日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	新里 米吉(社民・護憲)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 8年前の知事公約との関連</p> <p>ア 8年前、4年前の仲井眞知事の公約「完全失業率の全国平均化」は実現したか。平成24年の全国平均と沖縄の完全失業率の比較を伺いたい。</p> <p>イ 観光客年間1000万人(10年後、2016年)を実現するために平成25年及び26年の観光客数(目標)は何人になりますか。また、1000万人に対する平成25年の達成率を伺いたい。</p> <p>ウ 小学校において1クラス30人学級について、各学年(1年から6年)の実態(学級定数の上限)はどうなっているか。</p> <p>(2) 2010年(平成22年)の知事選の討論会で「沖縄に場所はどこにもない。日米安保条約を享受している日本全体で責任を持って引き受けてもらいたい。」「私は日米両政府が詰めた内容を見直して県外へと言っている。県外へと言っているのだから、県内移設は入っていないことになる。」と発言した。現在はどう考えているか伺いたい。</p> <p>(3) カジノ導入について、県民の合意形成はできていると思うか。</p> <p>(4) 1人当たり県民所得について、沖縄県の順位はどうなっているか伺いたい。</p> <p>(5) 辺野古埋め立てについて、知事意見で「環境保全上不可能」とした。そのことは防衛局の回答「工事の時に注意をしたり、専門家の指導」を受ければ解消されるものではないと思う。知事の所見を伺いたい。</p> <p>(6) 那覇空港の第2滑走路を米軍が緊急時に利用を望んでいることが報道された。知事は知っていたか。知っていたなら、誰から聞いたか伺いたい。</p> <p>(7) 「県外が早い」との主張が、(辺野古埋め立ては)「普天間飛行場の問題を解決する最短の方法」に変わった理由を伺いたい。</p> <p>(8) 知事は埋立承認後も普天間飛行場の県外移設を政府に求めているか。また、政府の回答も伺いたい。</p> <p>(9) 知事就任の2006年(平成18年)と2013年を比較した観光客数、観光収入、1人当たり消費額を伺いたい。また、消費額をふやすための対策、施策を伺いたい。</p> <p>2 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成26年第5回沖縄県議会(定例会)

09月29日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	仲宗根 悟(社民・護憲)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 知事の政治姿勢に関して</p> <p>(1) 辺野古新基地建設に伴う設計変更の申請は、名護市の同意や許可がなくても工事を進められるとする内容のようだが、これまで国は「地元の理解が得られるよう説明する」としていたが地元の意思を無視し、問答無用のやり方は余りにも強引な手法である。県の見解を伺う。</p> <p>(2) 嘉手納以南の米軍基地の返還は移設条件である。移設先に嘉手納弾薬庫やトリイ通信施設などの黙認耕作地が予定され耕作者は死活問題であり、到底許されるものではない。施設移転は現在より基地機能が強化されるものであり負担軽減にはつながらない。以北は基地機能強化である。県はどのように考えるか伺う。</p> <p>2 基地問題に関して</p> <p>(1) 米軍普天間飛行場から岩国基地へ移設されたとするKC130空中給油機が米軍普天間飛行場で訓練されているのが確認された。負担軽減の実効性がない状況について、県はどのような見解か伺う。</p> <p>(2) 米軍普天間飛行場のMV22オスプレイなどの航空機騒音規制措置で、運用制限を超えての飛行が繰り返され異常な状態にある。負担軽減はかけ声だけ、航空機騒音規制措置は形骸化され、米軍は守る姿勢が全くない。直ちに訓練の中止を求めるべきだと考えるが県の見解を伺う。</p> <p>(3) 嘉手納基地では米海兵隊のAV8Bハリアー機が着陸時に出火事故を起こし、その前にもF15戦闘機が白煙を上げて緊急停止した。相次ぐ事故は周辺住民の生命に危険を及ぼしかねない重大な事態です。同型機の飛行を即刻中止すべきと考えるが県の見解を伺う。</p> <p>3 中部地域の道路網の整備促進に関して</p> <p>(1) 道路は日常生活や産業経済活動、地域の振興発展と活性化を促進する上で欠くことのできない社会基盤であります。沖縄中部地域の道路網の整備促進に関する要請がなされていますがどのような内容か。要請に対する県の考え方はどうか伺う。</p> <p>4 台風8号による被害に関して</p> <p>(1) 平成26年7月7日から9日にかけて沖縄県を通過した台風8号の影響による豪雨などは各地に甚大な被害をもたらした。とりわけ土砂災害や道路の冠水による通行止めなど、どのような状況が発生したか伺う。</p> <p>(2) 嘉手納町から読谷村を通過する国道58号比謝橋付近の冠水は午前8時から午前9時ごろに発生し、朝のラッシュ時と重なり大渋滞、大混乱を引き起こしたことから河川管理者、道路管理者、両町村の連絡体制を構築し、速やかに道路利用者に情報が伝達できる仕組みづくりが必要であり、今後の対策について伺う。</p> <p>5 我が会派の代表質問との関連について</p>			